

会 議 録

会議の名称	令和５年度第２回結城市地域公共交通会議
開催日時	令和６年２月９日（金） 午後１時３０分～午後２時５０分
開催場所	市役所４階 大会議室１
出席者	出席委員 青木委員（代理 永井氏）、宮田委員（代理 宮田氏）、 服部委員、土田委員、稲葉委員、浅野委員、坂本委員、 山田委員、仲野委員、市村委員、落合委員、 寺田委員（代理 吉岡氏）、杉山委員、山中委員、外池委員 欠席委員 佐藤委員、澤島委員、和田委員 事務局 河田企画政策課長、永井公共交通整備係長、稲葉主事
議 題	（１）市内巡回バス利用者数の経過報告について （２）小山市との共通停留所の設置等について （３）巡回バス自由乗降の実施の可能性について （４）グリーンスローモビリティ視察研修について （５）バス停留所における環境整備について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	０名
審 議 内 容	（１）市内巡回バス利用者数の経過報告について （主な委員意見） 特になし （２）小山市との共通停留所の設置等について （主な委員意見） ○市内に人が来ることによって市内の経済が回り、そこに住む住民の利便性も向上すると考えられるため、方向性としては賛成。料金体系は小山市と併せる必要がある。これを機に有料化してはどうか。 ○小山市デマンドバスの乗り入れについては問題があったが、共通停留所の設置は一步前進であり、実現してほしい。市内では廃業する人が増えており、商人にとって、市外から人が来てくれることはありがたいため、地域間連携を図っていただきたい。 ○バスの利便性を高めることは理解できるが、桑絹地区からヨークベニマルへお客様を乗せているため、巡回バスが小山市に延伸すると困る。タクシー事業とのバランスを見て慎重に検討するべき。

	○結城市として、広域と域内においての公共交通の役割分担を明確にする必要がある。相互移動の需要があり、既存の交通ではカバーし切れていないということであれば、乗り入れも必要ではないか。 (3) 巡回バス自由乗降の実施の可能性について (主な委員意見) ○現状の運行においても様々な注意を要する中、自由乗降の導入は、安全性が確保されず、運転手の負担も増え、危険であるとする。 ○自由乗降の実施によって、タクシーとバスの区別がつかなくなる。どこでも乗り降りできるのであれば、タクシーは不要になってしまう。 ○バスの自由降車を試験的に実施する自治体の例もある。 ○道路環境等の地域性も影響する。他の自治体で実施しているから、結城市でも同じようにできるとは限らない。ドライバーの負担、安全性の確保等を含め、慎重に検討する必要がある。 (4) グリーンスローモビリティ視察研修について (主な委員意見) ○自転車より少し大きい程度の車両であれば、結城市の狭い道路でも運行可能であるとする。北部市街地の商店街でフリー乗降を行えば、高齢者の移動手段が広がり、街も活性化するのではないか。 (5) バス停留所における環境整備について (主な委員意見) 特になし
問合せ先 (事務局)	企画財務部 企画政策課 公共交通整備係 T E L 0296-32-1111 (内線) 2054 F A X 0296-32-7123 e - m a i l kikaku@city.yuki.lg.jp
そ の 他	